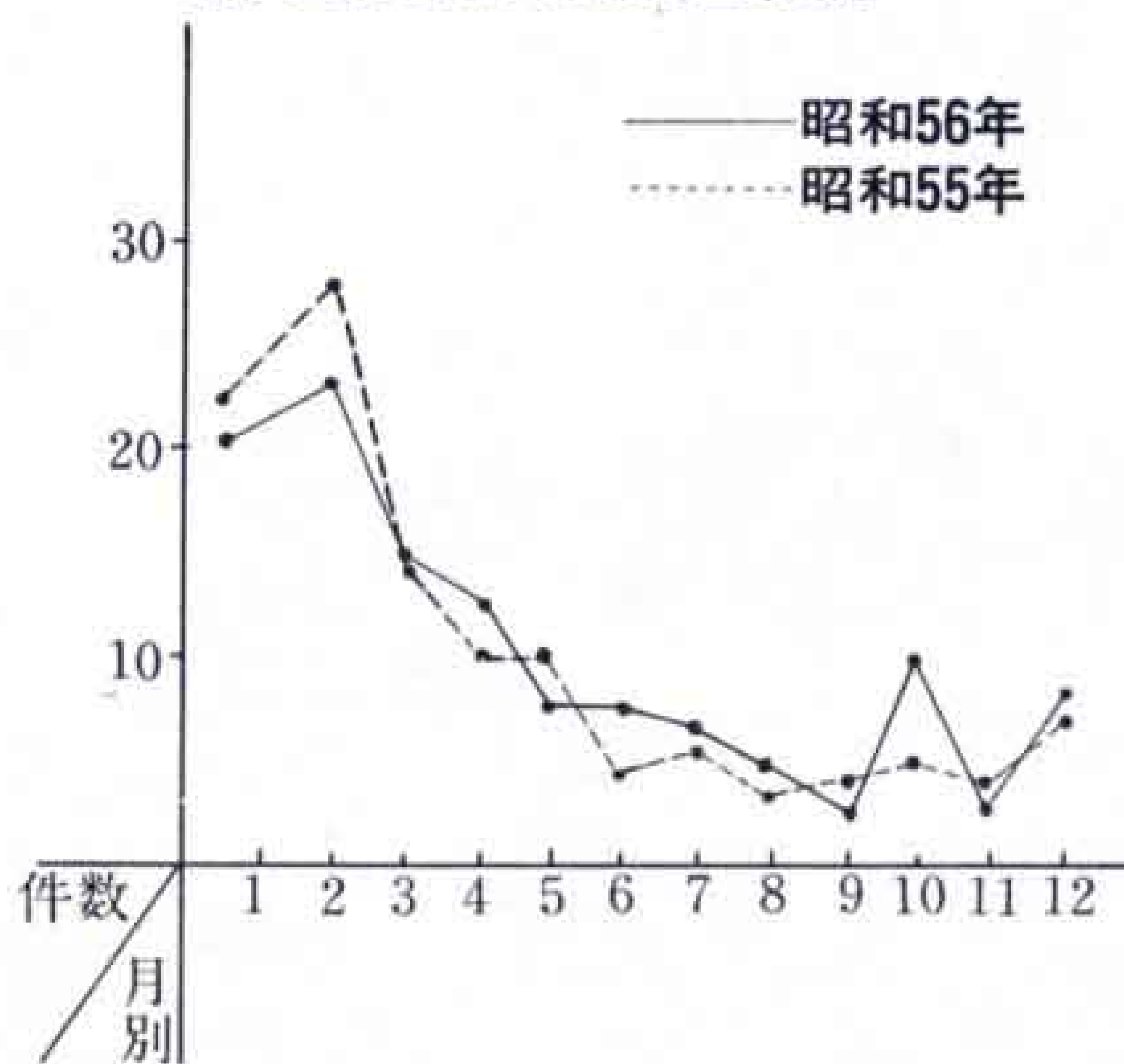


市内の月別火災発生状況



1億8,000万円——これは、昨年1年間に市内で発生した火災の損害額です。1日平均にすると、49万3,150円が毎日灰になったこととなります。昨年は、118件の火災が発生し、その31%にあたる37件が2月と3月に発生しています。

2月28日から3月13日までは春の火災予防運動。

私たちの尊い生命や財産を火災で失うことのないよう、お互いに十分注意しましょう。

放火が断然トップ

五十六年火災件数

特に多い二月・三月

昨年は118件発生

昭和56年1月から12月までに、市内では118件の火災が発生しました。

その内訳は、建物火災61件、林野火災4件、車両火災7件、その他46件です。

これを原因別にみると、一番多いのが、放火及び放火の疑いで36件。

このうち、かれ草やかやへの放火が20件もありました。この放火は、ある一定地域に限られ、連続的に起きているという特徴があげられています。

2番目に多いのが、タバコで13件。これは、市内では2年前まで出火原因のトップにあげられていました。しかし、全国的には依然として、1位を占めています。

タバコの火が原因と思われるものは、くすぶる時間が長いので、比較的につけやすく、消火もしやすい訳ですが、人目につかない所で不始末されるので、大きな火事に結びついてしまいます。原因の中には、くずかごへタバコを捨てて火事になった——などもありました。

3番目に多いのは、原因不明のも

市民文芸の入賞者決まる

応募作品は前回上まわる1,380点

市民文芸第18号の入賞作品が決まりました。

今回の応募作品は、小説・随筆・短歌など1,380点で、昨年の1,124点を上回っています。

表彰式は、3月15日(月)午後6時

(2)

30分から吉原市民会館第1会議室で行い、入賞者に賞状と記念品が贈られます。

なお、式終了後、上田五千石さんの講演会も行います。



小説の部で市民文芸賞を受賞した高橋さん

の12件。

4番目は、子どもの火遊び、風呂釜、電気配線器具で、それぞれ8件ずつ。

子どもの火遊びについては、小学校低学年や幼児によるライターなどの火遊びが原因となっています。

風呂釜については、から焼きや漏水があげられています。

電気配線、器具については、電気ゴタツの配線ショート、固定電熱器の故障などがあげられています。

タバコ1本132万円の損害

次に、出火原因別の損害額をみると、放火及び放火の疑いの損害総額は、4,868万円で、1件当たり135万2,000円。

タバコの損害総額は1,719万円で、1件当たり132万2,000円。

原因不明の損害総額は4,500万円で、1件当たり375万円が灰になりました。

これらの総額は、1億8,040万円にのぼりますが、このうち建物火災による損害額が1億1,996万円で、損害総額の66%を占めています。

火災発生件数を月別にみると、2月が最も多く22件、1月20件、3月15件、10月10件、12月9件の順となっています。

2月・3月にかけては、建物火災はもちろんのこと、枯草火災も多くなっています。この時期は、空気が乾燥し落葉や枯草が燃えやすいということもありますが、出火原因をみると、タバコやマッチの投げ捨て、たき火の不始末といった、ちょっとした

不注意によるものがほとんどです。

火災発生を時間別にみると、午後2時から午後3時までが13件で一番多くなっています。この原因としては、昨年と今年にかけて発生している、かれ草とかやの放火が含まれています。

次に多いのが、午後6時から午後7時までの11件。これは、夕食の仕たく時の火が原因としてあげられています。

総体的にみると、やはり昼食時や夕食時の火を使う時間帯に、火災が多く発生しています。その中で、天ぷら鍋のかけ忘れによる火災が6件ありました。

台所での火災は、ちょっとしたスキに発生しますので、火から離れる時は必ず火を消しましょう。

重点は死傷事故防止

春の火災予防運動が、2月28日から3月13日までの2週間、全国一斉に行われます。

この運動は、春先の火災が発生しやすい時期に、火災から悲惨な死傷事故をなくす目的で行われます。

運動期間中の前半は、林野火災と車両火災の防止に重点が、後半は建物火災防止に重点が置かれます。

具体的には、身体不自由者等を中心とした焼死防止対策の徹底、家庭における防止対策の推進、防火対象物にかかる防火安全の確保、異常乾燥時及び強風時の火災発生防止対策の推進、以上の4つをすすめます。

火災の最も起きやすい時期を迎え火の元には十分注意しましょう。

春の防火ポスター



岩松中3年 加藤千鶴さんの作品

春の火災予防運動

毎日が防火デーです ぼくの家

二月二十八日～三月十三日

入賞者名は次のとおりです。

〈小説〉

市民文芸賞 高橋政光 努力賞 釘谷芳男 奨励賞 海野庄三

〈随筆〉

市民文芸賞 釘谷芳男 努力賞 岡本やゑ子 努力賞 長島澄子 奨励賞 名和武子 田村玉江

〈短歌〉

市民文芸賞 鈴木安代 努力賞 田村亀吉 川口きよ子 中村ます子

後藤のぶゑ 秋山静子 奨励賞 名和武子 山田益男 吉田令子 望月百合子 鈴木房子 青木ひろ 前島沙江子

〈川柳〉

市民文芸賞 中村善三郎 努力賞 富士原光男 森川ヒデ 稲垣好子 奨励賞 佐藤せつ 小林久子 佐藤敬一 伊藤妙照

〈詩〉

市民文芸賞 佐野 勉 努力賞

堀池重雄 吉川篤子 竹内幸子 奨励賞 水野幸子 金井 広 渡辺ひで子

〈俳句〉

市民文芸賞 井出大作 努力賞 川口すみ江 海野愛子 鈴木としゑ 佐野 稔 杉山順一郎 奨励賞 植田剛照 深沢庄蔵 坂本たま子 久保田喜久夫 鈴木憲三 松浦富雄 長島雄邦